

地震対策(BCP)セミナー 開催



防災週間の9月5日、日東紡ビル会議室において「地震対策(BCP)セミナー」を午前・午後2回開催した。講師は自然災害をはじめ多方面のリスク管理を専門とするコンサルタントの橘田正基

氏 (株)インターリスク総研)、参加者は226名。

東日本大震災の被害データ

東日本大震災の特徴、人的・物的被害、電力・上水道・ガス被害、通信・交通被害、風評被害、マクロ経済的影響、上場企業決算への影響、製造業・小売業への影響などを総括した。

東京都で想定される地震被害状況

「東京都の地震発生可能性」「東京都の地震発生時被害想定」について解説があった。動画や具体的な数字を用いた解説は、地震対策の必要性を肌で感じるものであった。

優先的に整備すべき地震対策(BCP)のポイント

BCPとは何か、BCP導入の効果や実態、構成例などBCP全体像の説明のあと、「体制の構築」「初動対応」「復旧準備対応」「本格復旧対応」について、具体例を多用した体系的な解説があった。参加者からは「自社のBCPの整理・確認として有効だった。」「自社の対策で足りない点がよく分かった。」と好評を博した。

※セミナーの詳細は、次号のJISA会報(No.103)に掲載予定。

※資料をご希望の方はJISA事務局にお問い合わせください。

(赤尾)